

令和7年度南三陸地区協働教育研修会

11月13日(木)

「社会教育施設としての志津川自然の家」

事例発表者：志津川自然の家 主任主査 三浦 洋司 氏

「鹿折地区における地域学校協働活動の取り組み」

事例発表者：鹿折公民館 主事 藤村 勲平 氏



【受講者の声】※抜粋

- 地域の連携が深くなりつつあるので、このような研修会があるとありがたいと思う。顔の見える関係で、取組や課題を共有できる機会をいただき感謝している。
- 中学校区の先生方や公民館の方と話し合いをする時間は有効。今後も継続したい。
- 実際にそれぞれの学校や公民館さんの実情を知ることができて良かった。
- 協働教育を推進するにあたり、今日の研修会のように顔を合わせて昨今の教育事情、課題を話し合うことは、とても有効だと考える。貴重な機会をいただき感謝している。
- 近隣の学校、地区公民館の方々といろいろとお話できて大変参考になった。これからの子どもたちを育成するためにも、地域との連携を大切にしていきたいと改めて感じた。
- 地域との連携の充実を図りたい。謝礼(金)等の運用、管理等を整理したい。
- 自分が日頃感じている疑問点などを話せたので、とても良かった。
- 次年度の計画を立てる参考にしたいと思う。本日のような機会をさらに設けていきたい。
- 協働教育の推進の在り方について、他の先生方と意見交換を通して、学びを深められた。
- グループワークより、様々な地区の事例が聞けると良かった。
- 「やりたくてもできないこと」のテーマが話し合いにくかった。再編を踏まえた上でのテーマだと話し合いやすかったと思う。
- 地域懇談を行う際に、目的をしっかりと伝えていただくと話し合いを進めやすいと感じた。